

令和5年度 決算報告

令和5年度の一般会計と特別会計の決算が、令和6年12月10日から開かれた第4回定例議会にて認定されました。

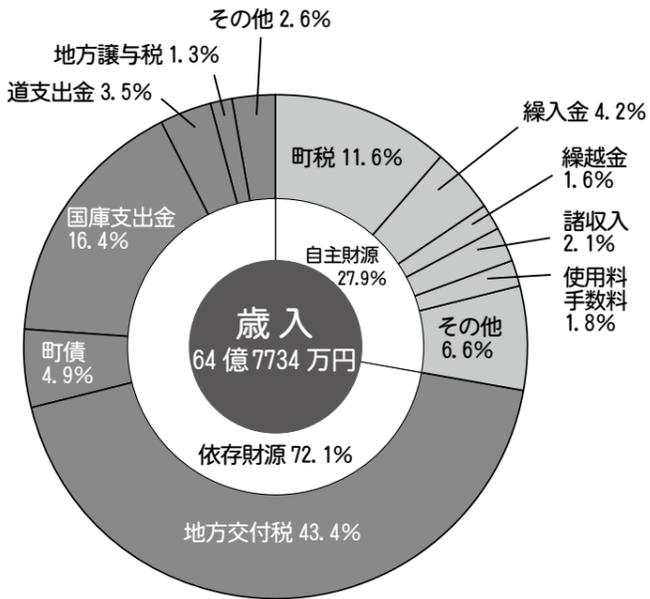
ここでは、まちの家計簿である令和5年度決算状況についてお知らせします。

財政の健全化を判断する各財政指標においては、地方交付税などの依存財源の増減により左右される状況にありますが、継続して効率的な財政運営を執り進めて

きた結果、いずれの財政指標も健全化を示しています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による電力・ガス・食品などの物価高騰に対応するための事業者給付金事業や、令和4年8月発生の大震災に対する復旧工事（繰越明許費）を昨年に引き続き実施しました。

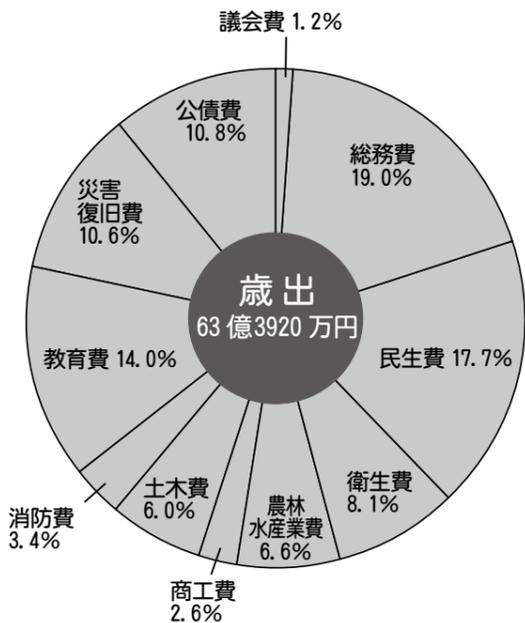
項目別内訳 (各項目の%は構成比)



歳入の内訳			
区分	決算額	前年比増減率	
自主財源	町税	7億5172万円	3.2
	繰入金	2億6929万円	22.5
	繰越金	1億0434万円	△15.4
	諸収入	1億3512万円	△23.3
	使用料手数料	1億1440万円	△1.3
	その他	4億2994万円	△6.6
	小計	18億0481万円	△1.0
	依存財源	地方交付税	28億0878万円
町債		3億2016万円	△15.4
国庫支出金		10億6384万円	24.4
道支出金		2億2763万円	△87.3
地方譲与税		8279万円	1.2
その他		1億6933万円	2.8
小計		46億7253万円	△24.3
合計		64億7734万円	△19.0

町税の内訳		
税目	決算額	前年比増減率
個人町民税	2億7657万円	△2.0
法人町民税	7766万円	45.3
固定資産税	3億3288万円	1.3
軽自動車税	1891万円	0.1
町たばこ税	3341万円	△1.6
入湯税	1229万円	9.1
合計	7億5172万円	3.2

一般会計



歳出の内訳		
区分	決算額	前年比増減率
議会費	7707万円	△1.6
総務費	12億0686万円	△3.4
民生費	11億1965万円	△15.5
衛生費	5億1465万円	△2.3
農林水産業費	4億2041万円	△79.5
商工費	1億6378万円	12.2
土木費	3億7920万円	△18.0
消防費	2億1670万円	△13.6
教育費	8億8752万円	3.1
災害復旧費	6億6995万円	233.1
公債費	6億8341万円	△7.6
合計	63億3920万円	△19.7

特別会計決算		
区分		決算額
簡易水道事業特別会計	歳入	2億3800万円
	歳出	2億3309万円
下水道事業特別会計	歳入	1億8825万円
	歳出	1億8651万円
国民健康保険特別会計	歳入	8億3260万円
	歳出	8億3104万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	8647万円
	歳出	8622万円
介護サービス特別会計	歳入	2億9891万円
	歳出	2億9033万円
国民健康保険診療事業特別会計	歳入	4億9867万円
	歳出	4億8728万円
合計	歳入	21億4290万円
	歳出	21億1447万円
	差引繰越額	2843万円

基金残高と地方債残高	
○基金残高(貯金)	令和5年度決算における一般会計の基金残高は25億8306万円で、令和4年度の決算残高と比べて1億9317万円増加となりました。令和5年度については、財政調整基金の取り崩しがなかったことから、基金残高が増加しました。 町民1人当たりの貯金額50万6千円(令和6年3月末の人口で算出)
○地方債残高(借金)	令和5年度決算における一般会計地方債(元金)残高は、50億1497万円。令和4年度の決算残高と比べて3億4891万円減少しました。(内実質負担額12億5008万円) 町民1人当たりの借金額98万2千円(実質借金額24万5千円)(令和6年3月末の人口で算出)

一般会計 各財政指標の推移							
区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	5年度管内平均	5年度全道町村平均
経常収支比率	89.3	89.8	84.3	84.8	86.0	88.1	85.6
実質公債費比率	7.1	7.5	7.7	8.0	8.2	10.2	9.2
将来負担比率	6.0	6.9	-	-	-	20.1	15.7

経常収支比率について、令和5年度決算では、町税や普通交付税などの経常一般財源収入は36億2354万円、経常一般財源支出は31億1679万円となり、経常収支比率は86.0%（収入から臨時財政対策債を除いた収支比率は86.4%）となります。経常収支比率を前年と比較すると1.2ポ

イントの増となりました。この状況を家計に置き換えると、給料や事業収入で得た家計収入のうち、住宅ローン、教育費、光熱水費など、既に決まっている支出が約86%あり、残りの約14%が手元に残り自由に使えるお金ということになります。

歳入について

歳入の決算額は、64億7734万円で前年度決算額と比較して15億1662万円、19.0%の減となりました。町税の収納率は、調定額に対して99.5%（前年度99.5%）で、前年度と比較し、同率となりました。また、町税の収入未済額は3156万円、不能欠損処分として整理したものは150万円、これら収入未済額の合計額は3306万円の決算となり、前年度と比較して220万円、6.2%減少しました。

歳出について

歳出の決算額は、63億3920万円で、前年度決算額と比較して、15億5042万円、19.7%の減となりました。執行率では、予算現額に対して97.1%（前年度91.8%）で、1億8869万円の執行残が生じていますが、この額には、翌年度への繰越明許費とした事業の繰越額8386万円を含んでおり、これを除いた執行残は、1億33万円となります。